

1. 医事職員構成

2005年度の医事のスタッフは事務職員2名・MSW2名・嘱託職員1名・委託職員（ニチイ学館）10名であったが、10月より医療相談室（MSW）とわかれ、8名となった。

2. 外来の動き

2005年4月から済生会熊本病院からの医師派遣が整形外科と泌尿器科ともに外来日のみの派遣に縮小された。担当医も曜日毎に違うという、多数の医師の外来診療体制となった。

紹介患者については開院以来培ってきた病診連携の効果が、紹介率が2005年度当初から続けて30%を上回ることができた。この結果紹介患者加算の施設基準を5から4へアップでき、急性期入院加算の施設基準の取得へ繋がった。

11月から宇城市MRI脳検診が3年計画で始まった。今年度の受診者は821名であった。初年度であったので受付から結果報告及び精密検査までのシステムを他部署と協力の上構築した。

3. 病棟の動き

2005年8月1日付けで亜急性期病床14床を開設した。亜急性期病床の開設を機に病床管理委員会が発足した。病床管理委員会は委員を医師全員、看護師長全員、リハビリ室長、医療相談室長、医事室長とし、毎週1回開催した。

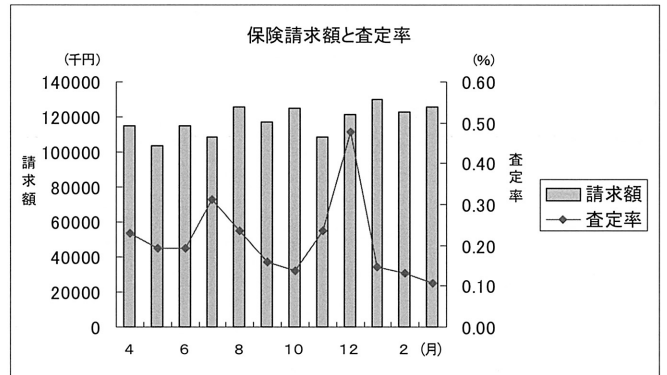
医師全員を委員としているので、患者の病状等を具体的に踏まえて転棟や退院を協議することができ、回復期リハビリテーション病棟・亜急性期病床・一般病床と多様な病床を効率的に運営できるようになった。亜急性期病床の入院患者数は一般病棟の平均在院日数から除外されるため、一般病棟の平均在院日数の短縮にも繋がった。

4. 2005年度取得施設基準一覧

項目	承認日	備考
診療録管理体制加算	6月1日	
紹介患者加算4	8月1日	紹介患者加算5より変更
亜急性期入院医療管理料	8月1日	
ペースメーカー移植術・交換術	8月1日	
入院基本料I-2 (2.5:1看護) 看護補助加算 (10:1)	9月1日	入院基本料I-1 (2:1看護) より変更
急性期入院加算	9月1日	

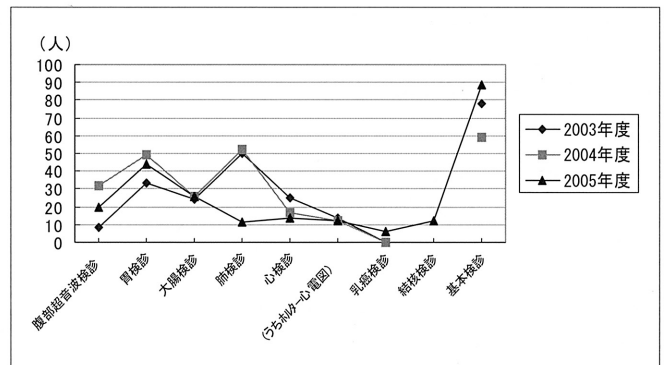
5. 保険請求と査定

保険請求については、外来・入院共に患者数も増加し昨年と比較すると、かなりの伸びが出ている。査定減や審査機関からの通達については毎月の医局会で報告し、その後の請求に反映させている。12月分については言語聴覚療法で高額査定を受けたがその後再審査にて請求復活している。



6. 三角町集団検診後の精密検査の実施

2005年度は5月23日（月）、24日（火）、25日（水）の3日間三角町住民の集団検診の結果説明会が三角町保健センターにて行われた。下のグラフは過去3年間の精密検査の実績である。



7. 医療制度等についての説明会の実施

「医療制度改革についての説明会」を1月24日（火）に、また「平成18年度診療報酬改定の説明会」を3月16日（木）に全職員を対象に開催した。